

わが わが 最後の

両町村長の式辞を要約

旧北御牧村閉村式典

とき
ところ
参加者

平成16年3月20日
北御牧中学校体育館
約650名

北御牧村、思い出をありがとう……



▲式典全景。大勢の皆さんが閉村式に足を運んだ
▼式辞をのべる岩下忠善前村長



況は極めて厳しく、
少子高齢化の流れの
中で、未だ経験した
ことのない国の総人
口が減少するという

顧みますと、北御牧村は明治22年（1889年）4月1日、町村制の施行により、戸数648戸、人口3,252人により誕生しました。

初代村長には、黒澤嘉兵衛利直翁が就任され、郡長の指導のもとに小学校の開校、消防組織の整備など近代村の基盤づくりにご尽力いただいたのであります。

道を拓き、水路を引き、産業を興しつつ、自治の単位となるべき集落の基礎を整えながら地域の文化を育み近代社会への惜しみない力が注がれました。

そして、戦後の混乱期と多難な時代を乗り越えられ、今日の繁栄へと導かれた先人の英知と努力に対し頭の下がるばかりであります。あらためて感謝と敬意を表すものであります。

今日、激動する社会経済情勢は大きな変革のときを迎えております。国の財政状況は極めて厳しく、少子高齢化の流れの中で、未だ経験したことのない国の総人口が減少するという

北御牧村閉村式典次第

- 村民憲章唱和
- 開式のことば
- 村長式辞
- 議会議長あいさつ
- 表彰及び感謝状の贈呈
- 受章者代表あいさつ
- 来賓祝辞
- 村のあゆみビデオ上映
- ふるさと北御牧村に感謝して
 - ・小学生代表
 - ・中学生代表
- 村旗降納
- 閉式のことば
- アトラクション
 - 北御牧中学校吹奏
 - 参列者全員で
 - 「ふるさと」合唱



村旗降納



ビデオで村の歴史を振り返る

時代に直面しております。こうした厳しい試練の時代に、今後進むべき道をどう切り開いていくかは、この村の今を生きる私たちの責務です。

合併は新しいまちづくりの出発点であります。東部町の先進的なまちづくり、北御牧村のみのりの田園を基盤とする健康で住みよいむらづくり、それぞれの特徴を生かし、分権社会に相應しい市民参加の協働のまちづくりを目指すものであります。

「さわやかな風と出会いの元気発進都市」の理念をスローガンに、新市の未来に向かって力強く第一歩を踏み出そうとするものであります。

閉村にあたり、今日まで大変お世話になりました多くの皆様をはじめ、北御牧村にご指導、ご協力をいただいた大勢の皆様

に心から感謝と御礼を申し上げます。

そして、北御牧村を培ってきた「みまきコミュニティ」「温かな人情」「固い団結力」「郷土を愛する強い心」を大切に継承して、新しい郷土、東御市に夢と希望を託すものであります。

閉村式典にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念し挨拶いたします。



参加者全員で「ふるさと」大合唱